

建設のミライ

第7回CSPI—EXPO 開催直前号

405社、過去最多の2765ブースを出展

6月18—21日、幕張メッセで開催

第7回CSPI—EXPO
実行委員長
谷鉄也氏

業界の課題解決に貢献

このたび「国際建設・測量展(CSPI—EXPO)」を開催するにあたり、デジタル庁、経済産業省、国土交通省、環境省からご後援、さまざまな業界団体からご協力いただけて盛大に開催することができ、深く感謝申し上げます。

CSPI—EXPO2025は、6月18日(水)から21日(土)までの4日間、幕張メッセで開催します。出展405社、過去最多の展示ブース2,765小間、展示面積4万7,000平方メートルで開催となります。建設業界・測量業界全体の課題解決の場として、日々進化し続ける最新の製品・技術・サービスが一堂に集結いたします。

今年から土曜日までの4日間開催となり、21日(土)に限り、出展社さまのご家族、来場者さまのご家族で展示会にお越しいただけます。さらに一般のお子さまを来場誘致させていただくことで、業界に対する、憧れや親しみをもっていただき、将来、本業界で働きたい、と思っていただける場につながってほしいと考えております。

業界の未来を担う最新の製品・技術・サービスを、会場で直接見て体験することで、新たな交流やアイデアが生まれ、業界全体にとって有益であると考えております。

屋内展示場と隣接する屋外展示場は、建機、アタッチメント、測量機器などのデモンストレーション会場となります。ここでは普段なかなか見られない、製品・技術・サービスの実演が行われます。実機や実物のデモンストレーションを見ながら、比較検討できるのはこの展示会場だけです。

またセミナー会場では、業界の未来、さまざまな生産性向上につながった事例や新商品や新サービスなど、昨今注目される海外進出や解体業に関するセミナーも行います。事前受付で満席のセミナーもありますが、当日若干数の受付を行います。

関係者一同、皆さまのお越しをお待ちしております。ぜひお誘い合わせのうえ、CSPI—EXPOにご来場ください。



建設、測量分野の最先端の製品、技術、サービスが一堂に会する「第7回 CSPI—EXPO」は「国際建設・測量展」に名称変更し、18—21日の4日間、千葉市の幕張メッセで開催する。屋外を含む約4万7,000平方メートルの展示場に405社が過去最多の2,765ブースを出展し、ICT建機やアタッチメント、測量機器など最先端技術を展示する。海外からは49社が出展する。今回は初の4日間開催となり、21日(土)は家族や子どもが無料で来場できる「一般観覧日」とし、大型建機やドローンなどを体感できる。本特集では、東京大学大学院「Constructionシステム学」寄附講座を主宰する堀田昌英東大大学院工学系研究科社会基盤学専攻教授、国土交通省の廣瀬昌由技監、建設業界向け語学研修を提供するツクルロマンの関根謙太社長に建設業のDXやグローバル展開についてうかがい、みらいを展望する。



THE KENSETSU TSUSHIN SHIMBUN

建設通信新聞

Architectures, Constructions & Engineerings News(Daily)

東京大学大学院工学系研究科
社会基盤学専攻教授
堀田昌英氏に聞く

◇ 寄附講座の2025年度の取り組みは、これまでの活動の総仕上げとなる第Ⅲ期(4年)の活動が24年10月に始まり、「新技術活用を促進するための制度インフラの再構築」「i-Constructionの育成」「i-Constructionシステムの構築」の三つを柱にイノベーションの社会実装に向けた取り組みを進めています。今年度は、施工データを一元管理し、発注者、設計者、施工者などの関係者が、真正性を担保したデータで情報共有する共通基盤「R-CDE」など協調領域の検討を加速させています。ICT工にプロックチェーンの技術を導入し、改

「R-CDE」は、発注者、設計者、施工者が必要とする必要な情報を出力し、入力する「データのプール」のようなイメージです。ICT工にプロックチェーンの技術を導入し、改

◇ 維持管理WG(国土交通省)では、国交省が「i-Construction」を推進する中で構築した流域データプラットフォームや全国道路施設点検データベース(xROAD)などのCDE(共通データ環境)を活用し、API連携によるアプリ開発を進めています。中国地方整備局岡山国道事務所では3次元モデルを活用した維持管理を試行しています。

◇ 現場から得られるさまざまなデータはどのように活用できるか
R-CDEは、発注者、設計者、施工者が必要とする必要な情報を出力し、入力する「データのプール」のようなイメージです。ICT工にプロックチェーンの技術を導入し、改

◇ データの一元化
データ連携
データの真正性担保

◇ 建設業の未来を現する
今年から一般観覧日と設けると聞いています。建設業の未来を担う技術の展示を見ることが、子どもたちに興味を持ってもらう貴重な機会になると思います。4月に寄附講座のメンバーが視察した建設業向けの国際展示会「baum2025」もファミリーゾーンを設けて人気を博しています。CSPI—EXPOが最先端の実機やデモンストレーションを見てもう一つ、またとない機会になることを期待しています。

◇ 設計WG(事務局)建設コンサルタンツ協会は、分野ごとに異なる構造物を一律に検討するのは難しいため、河川、道路、橋梁下部、砂防の四つのサブWGを設けて検討しています。施工WG(日本建設業連合会)は、今年度は「出来形管理」をテーマにR-CDEを試行します。

◇ 例えBIMは標準データフォーマット「IFC」を介して各ソフトがデータ連携できます。同様に、R-CDEの運用もCDEの共通データモデルに基づき、複数のCDE間でデータ交換できるようにすることで3次元の設計、施工データ、点群データ、測量データなどさまざまなデータを利用できるようにします。

AIの進化で業務を自動化

◇ 例え東京都市「デジタルツイン実現プロジェクト」では、3次元都市モデルに河川のリアルタイム情報や防災システムなどさまざまなデータを統合し、都民や企業などがデータを閲覧し、まちづくりや防災シミュレーションなどに活用できるようにしています。このようにCDE連携が進むことが期待されます。

◇ 例え東京都市「デジタルツイン実現プロジェクト」では、3次元都市モデルに河川のリアルタイム情報や防災システムなどさまざまなデータを統合し、都民や企業などがデータを閲覧し、まちづくりや防災シミュレーションなどに活用できるようにしています。このようにCDE連携が進むことが期待されます。

◇ 例え東京都市「デジタルツイン実現プロジェクト」では、3次元都市モデルに河川のリアルタイム情報や防災システムなどさまざまなデータを統合し、都民や企業などがデータを閲覧し、まちづくりや防災シミュレーションなどに活用できるようにしています。このようにCDE連携が進むことが期待されます。

◇ 例え東京都市「デジタルツイン実現プロジェクト」では、3次元都市モデルに河川のリアルタイム情報や防災システムなどさまざまなデータを統合し、都民や企業などがデータを閲覧し、まちづくりや防災シミュレーションなどに活用できるようにしています。このようにCDE連携が進むことが期待されます。

◇ 例え東京都市「デジタルツイン実現プロジェクト」では、3次元都市モデルに河川のリアルタイム情報や防災システムなどさまざまなデータを統合し、都民や企業などがデータを閲覧し、まちづくりや防災シミュレーションなどに活用できるようにしています。このようにCDE連携が進むことが期待されます。

◇ 例え東京都市「デジタルツイン実現プロジェクト」では、3次元都市モデルに河川のリアルタイム情報や防災システムなどさまざまなデータを統合し、都民や企業などがデータを閲覧し、まちづくりや防災シミュレーションなどに活用できるようにしています。このようにCDE連携が進むことが期待されます。

『R-CDE』など協調領域の検討加速

掲載企業一覧

アクティオ
エコロジーターボサービス
SRJ, Inc.
エムケー精工
カナモトグラマー
コンチテック・インダストリアル・ソリューションズ・ジャパン
酒井重工業
サンオータス
徐工日本成松屋
日立建機
福井コンピュータ
Liugong
レフィクシア

QRコードを読み込んでいただくと、本紙とタイアップした特設サイトにアクセスします。特集に掲載したインタビューや掲載企業の詳細な製品やサービス、技術情報などを紹介しています。来場が無料となる事前登録もこちらから行うことができます。ぜひご覧ください。



インタビュー

国土交通省技監 廣瀬 昌由氏



生産性1.5倍へ“自動化、を推進

異分野の技術と現場を融合

国土交通省は、「建設現場のオートメーション化」により、生産性1.5倍を目指すi-Construction2.0を強力に推し進めている。ICT建機やレーザー測量など先進の技術を組み合わせて建設現場のデータを取得し、AI（人工知能）などで解析してさまざまな業務の自動化や効率化につなげて生産性向上を図っている。人と、ICTによる自動化技術が協調した新たなステージに建設現場が進むとする中、i-Construction2.0をけん引する廣瀬昌由国

—2025年度の取り組みは

国交省では、生産性2割向上を目標にICT施工に象徴されるi-Constructionを16年から進めてきました。特にICT土工は施工が効率化し、安全性も高まるとして評判が良く、大企業だけでなく、多くの中小建設業の皆さまにも取り組んでいただきました。

気候変動に伴う豪雨の頻発化・激甚化や切迫する巨大地震への対応、社会経済活動の活性化、地方創生などのために、今後にも必要なインフラ整備は多くあります。さらに埼玉県八潮市で発生した、下水道に起因する道路陥没事故のようなインフラ老朽化問題にも対応するため、国交省ではi-Construction2.0を24年4月に打ち出し、40年までに建設現場の省人化を少なくとも3割、すなわち生産性1.5倍向上を目標に掲げ、「施工」「データ連携」「施工管理」のオートメーション化の三つを柱に取り組みを進めています。25年度も各施策の具体化を進めているところです。

主要な柱である施工のオートメーション化では、ICT施工StageⅡ、遠隔施工、自動施工などを進めています。例えば自動施工は24年度に4件を試行し、その結果を踏まえて安全ルールを改定しました。今年度は山岳トンネルでの試行を予定しています。データ連携や施工管理のオートメーション化でも各施策の社会実装を進め、より多くの方に実感いただけるようにしたいと思っています。

ICT施工でも、土工と浚渫工は、エースプロジェクトとしてi-Constructionをけん引してきた施策です。施工者だけでなく、建機メーカーにも、努力いただき、建設現場に広く適用が進んだことから、25年度から直轄工事での原則適用を開始しました。

これまでに多くの施工者にICT施工を経験していただくことで、働き方改革に貢献するとともに、その延長線上にある遠隔施工や自動施工の実施に向けた下地づくりに貢献したいと思っています。その意味でもICT施工の効果は大きく、自治体においても取り組んでいただいているところですが、さらに広がるようメリットを訴求していきたいと思っています。

特に遠隔施工は、私のような「ガンダム世代」にとっては、ガンダムのコックピットのような操縦席で建機を操作できることは魅力的です。オペレーターにとっては現場の建機の操縦席より、空調の効いた環境で仕事をすることがいいと思う方もおられると思います。移動時間の削減につながり、労働時間の短縮にもつながります。建設業に入職を希望する人の関口を広げる意味でも効果的です。

現場で得られるデータの活用へのポイントは

現在取り組んでいるICT施工StageⅡは、建機の位置情報や稼働状況、施工履歴などさまざまなデータを集約して生産性を向上させる取り組みで、i-Construction2.0の主要な施策の一つです。例えばタンポトラックや掘削・積み込み機械の位置情報・稼働状況などを可視化することで、ダンプの流れがどこで滞っているのかボトルネックを可視化し、運搬経路や機械の能力を見直し、待ち時間などを改善します。24年度の試行で最も成功した工事では、日当たり施工量を25%向上することができました。

CDE（共通データ環境）の活用では、まず発注者がプロジェクト全体の工程管理を効率化する観点で「プロジェクトCDE」の有識者会議の初会合を6月4日に開催します。測量、設計、施工など各プロセスで生成する最新データを関係者で共有する共通基盤は極めて重要であり、過去からストックしてきたデータも含め、必要な情報を素早く引き出すことができれば、事業全体の効率化やインフラ管理の効率化にもつながると思います。有識者に意見をいただきながら、発注者の仕事を効率化し、ひいては受注者の仕事も効率化するよう検討を進めます。

—データ活用的高度化に伴い、建設業のICTスキルはどうあるべきでしょうか

現場のICT化が進み、機械操作にとどまらずデータの収集・分析・活用を通じて業務改善や生産性向上を図る能力が求められます。従来の土木、建築の技術に加え、これからは

人とICTが協調する新たなステージ



i-Construction2.0で実現を目指す社会（イメージ）

デジタル技術に関して十分な理解を持ち、それを適切に活用できるスキルを備えることが必要であり、デジタルリテラシーを向上するための仕組みづくりが重要となります。

また、日進月歩で進化する技術やサービスをキャッチアップすることも大切です。そして、研修やマニュアルを作成して一人ひとりのデジタルリテラシーを高めることも、企業間連携による協調領域の開発などで組織全体のデジタルリテラシー向上も重要です。東京大学大学院i-Constructionシステム学府講座では、多くの企業の参画のもと産学官連携による協調領域を研究するなど、非常に意味のある活動を進めていただいています。

ICTにより業務の自動化は進みますが、一つひとつ現場は違うため、完全にオートメーション化された工場とは異なることから、現場に技術者は必要です。建設分野におけるオートメーション化の仕組みを構築する中で、建設技術者とICTがどう協調していくかを考えることも今後のテーマになるのではないのでしょうか。

—CSPI-EXPOに期待するところは

技術革新の速度は、これまでと比較できないくらい早くなっています。例えばAIの画像認識のような他分野で開発された多くの技術が土木分野に応用されており、この先もどんどん進化するでしょう。一方、工事の内容自体は変わらないため、これらの新技術をどう現場に提供し、融合させるかが重要になります。

特にオートメーション化の推進には、スタートアップ企業など異分野の技術が欠かせません。CSPI-EXPOには、さまざまな領域の最先端技術やサービスが集結するため、それらを連携して新たなイノベーションを生み出すことも期待できます。出展社と来場者が活発に交流し、建設業界全体のレベルアップや技術革新につなげてほしいと思います。

国民生活や経済活動の基盤となるインフラを守り、発展させる役割を担う建設業が生きていきなりがいを抱えて働くことで、「給料が良い」「休暇が取れる」希望が持てる「いい仕事」を加えた新4Kを実現することが重要です。CSPI-EXPOを通じて、建設業の未来が明るくなるような技術やサービスにたくさん出会う機会になることを期待します。

信頼と、新しいビジネスのために。

AKTIOは、建設機械のレンタルに始まり、

今ではお客様のニーズに合った提案をする

レンタル+コンサル=レンサルティング®を行っています。

例えば、IoT、ICTの技術を磨き「現場の見える化」に貢献。

国交省が推進するi-Constructionをさらに後押しするべく

各地で勉強会なども行い、各現場に合った機械の提案、

技術面での相談に乗ることも多々あります。

すべては、お客様のために。

私たちAKTIOが全力でサポートします。



見える景色が変わる、よろこびを。



建設機械レンタルのリーディングカンパニー

インタビュー



ツクルロマン代表取締役社長

関根 謙太氏

地域建設業の技術は世界で通用

経験値と語学力の融合で現場管理

高度な技術力を誇る日本の建設業が世界を舞台に活躍することが期待されている。その時に「英語」が欠かせないことのないよう、ツクルロマンでは建設業に特化した英語学習プログラム『オフィス留学』を提供している。「日本の地域建設業は世界に通用する技術がある。それには海外の人とコミュニケーションを取る語学力が重要だ」と話す関根謙太社長に、地域建設業が海外展開する上で英語を学ぶ価値やポイントを聞いた。

——地域建設業の海外への関心は、行政によりスキリングの補助が充実し、英語教育の費用の大部分を賄えるため、海外展開を検討する地域建設業や空調工事会社、ホームビルダーなどから当社への問い合わせが増えています。「受けきれないほどの受注は日本にあるが、こつこつとまだかこを海外に仕事を広げたい」という思いを強く感じます。

建設業が海外展開する際の方法はさまざまですが、現地企業とのジョイントベンチャー(JV)やM&A(企業買収)に加え、ODA(政府開発援助)案件への参画、または自社が開発主体(デベロッパー)として現地に開拓するなど、段階的に事業を広げていくケースも多くみられます。

M&Aにおいては、EBITDA(利払い前・税引き前・減価償却前利益)に一定の倍率(マルチプル)をかけた評価手法が用いられることが多く、建設業では利益率が低い傾向があり、他業種に比べると買収価格が抑えられる傾向もあります。もっとも価格の妥当性は単なる利益率だけでは測れず、保有資産、案件パイプライン、現地の信用力といった定性的要素も大きく影響します。

一方、自社がデベロッパーとなるケースでは、数億円規模の初期投資で現地事業に参入する例もあります。例えば、日系金融機関を通じて現地の施工業者と接点を持ち、試験的に施工を発注しながら信頼できるパートナーであるか判断できた段階で合弁会社の設立に至るケースもあります。

時差が少なく文化も近いアジアはインフラ需要が旺盛で、土木工事を受注するならFIDICに準拠する必要があります。トラブル発生時の対処法も契約書に細かく定められているため、FIDICを知り、働く人を確保できれば工事管理の質が高い日本企業は現地のゼネコンより優位性を発揮できるでしょう。



——海外に出るとき準備は

スクリーニングは、主に経営コンサルタントが担当するケースが多いように感じます。全国ゼネコンはPWC、デロイト・トーマツなど大手に頼みますが、大手出身の中小コンサルタントも活躍しています。インフラプロジェクトをとりまくのか、民間建築など現地のマーケットに参加するので進出の仕方が変わるため、中小企業診断士も相談にするのもよいでしょう。

当然、失敗するリスクもあります。ある売上100億規模の会社がアジアに進出した時、技術は非常に高いのですが、契約や現地とのリレーションシップがうまくいかず撤退したケースがありました。せつこくチャレンジしても事業の方向性が明確にならず、契約まわりの実オペレーションを担当する人がいないと失敗しがちです。

FIDICを身につけるコツは、一項目ずつ全て理解することだと言われ、プロのコンサルタントも「条項の解釈を深め、それらを実行できれば、失敗することはない」と断言します。当社の英文テキストも土木の例文はほとんどが契約に結びついています。行政の工事では英語を話せる人が窓口になることが多いため、英語を話す必要があるでしょう。当社は土木向けの講座や、FIDICを読み解くためのサービスを開発しています。

——海外で仕事をする際の語学的重要性

これまでのゼネコンの海外進出を見ると「あいつならできるだろう」と属人的な判断で乗り切ろうとする傾向が強かったと感じます。ある大手ゼネコンは海外赴任する社員に求めるTOEICスコアが550ですが、総合商社では最低でも800を求めます。確

短期集中で専門用語を習得し、仕事に生かす

に、現場対応力や経験である程度は乗り切れることもありますが、語学力が低いと損失につながりやすいのが実情です。例えば英語の会議が雰囲気だけで「なんとかなった」としても、通常の日本語での会議と比べて倍以上の時間がかかっているようであれば、時間的コストでは「なんとなんとなん」といえます。どの社員が海外の現地で業務を担うかも重要です。そのとき役立つのが全産業に共通する「グローバル人材」の定義で、仕事をやり遂げる「主体性・リーダーシップ」、経験工学の建設業に求められる「専門知識」、国際的コミュニケーション能力としての「語学力と異文化対応力」の三つがあります。リーダーシップと異文化対応力は関連性が高く、異文化を知ることは特に重要で、現地に入って信頼関係を築いた上でプロジェクトを始めれば万全です。建設を取り巻く環境と状況が分からないと、せつこくの技術力も生かせません。

英語の勉強法は、コミュニケーション能力と専門知識の二つに分けて考えるとよいでしょう。多くの英会話スクールが教える英会話は流暢なコミュニケーションを鍛えるもので、時間がかります。一方、仕事では専門分野の英語力があればなんとかなる面もあります。普段の仕事で使う単語のため、短期集中で3カ月もあれば覚えられます。

例えばインドの自動車工場の建て替え工事をケーススタディにした教材があるのですが、既存工場に通るガスパイプラインに触れないように施工する時、距離距離を「untouchable line」と訳します。掘削は「Open Cut」です。こうした単語はすぐに覚えられます。

現場経験の豊富な技術者なら、工期の遅れやトラブルに発展しそうなケースは経験則で危機察知能力が働きますが、対処法を現地の人に伝える手段は言語です。このことをきちんと理解することが重要です。

——英語が話せることの意義や生産性向上の効果

英語力によって、業務効率が数倍変わるケースもあると思います。日本語は短い言葉で情報を伝える言語と言われ、例えば一行の日本語を英語に直訳すると2行になります。ただ英語を知っている人はニュアンスをくみ取って1行にできます。そうすると生産性は2倍です。

自動翻訳機のレベルが上がり、海外展開のハードルは下がりました。ただ交渉や業務全てに対応できるわけではないため、英語力の強化は今なお不可欠です。そうした中、建設業界の課題として特に建設コンサルタントから聞くのは、国内の現場が減少する中で、若手が育ちにくい状況になり、その結果ベテランと若手が一緒に海外に出て技術継承するケースが増えているという点です。産業として日本の技術力や知見を残す上でも海外は重要だと思えます。

日本企業の強みは技術力で、それは世界から高く評価されています。そして地域建設業をはじめとする中小企業も世界に通用する技術力があることは間違いありません。当社の事業コンセプトは海外展開のハードルを下げることであり、今後さまざまな教材開発などを通じて支援したいと思っています。

ONE SITE ENDLESS HUMAN STORIES

現場一つひとつに、働く人と日立建機との特別なヒューマンストーリーが、まさにこの瞬間も世界中で生まれています。ここにご紹介するのは、そのほんの一部。私たち日立建機は、大切な想いに一つひとつ全力で応えていきたい。

必ず納期を守り、契約通りのメンテナンスを提供してくれます。だから、私たちの第一選択肢は常に日立建機なのです。

Erkinkul Ospanaliyeva / General Director
BEREKE A

#008
Shymkent
KAZAKHSTAN



HITACHI
Reliable Solutions

Hitachi Construction Machinery Co., Ltd.
<https://www.hitachicm.com/global/ja/>



Hitachi Construction Machinery Group
LANDCROS
Japanese Excellence—Reliable Solutions

【企 画】		建 設 通 信 新 聞		2025年（令和7年）6月4日（水曜日）		第2部（4）	
出展社一覧（五十音順、5月25日現在）							
出展社名		小間番号					
ア行							
EARTHBRAIN ランドログカンパニー	07-76	GROWTH POWER	18-64	東海理化クリエイト	09-24	モア・オートメーション	03-79
アートサービス	01-45	桑原鑄工	14-27	東京海上レジリエンス	03-63	モアソソジャパン	19-41
アートジャパン	13-69	計測ネットサービス	18-73	東京久栄	14-31	守屋建設	11-19
アイ・エス・ビー	19-61	ケービーエル	05-01	東京大学大学院工学系研究科 建築学専攻 建築材料研究室	18-18	諸岡 屋外	17-91, ODA-02
ifm efector	11-61	ケット科学研究所	14-71	東京貿易テクノシステム	10-65	ヤ行	
アイサンテクノロジー PRセミナー	12-61	ケルヒヤー ジャパン	02-01	同心機械	13-49	安田建設	08-27
アイチコーボレーション	02-40	建機ワールド	11-47	東方商事仲介	10-01	山崎マシーナリー 屋外	01-65, OD-11
アイデア・サポート PRセミナー	11-19	建設IoT研究所	14-18	東陽テクニカ PRセミナー	17-18	山真製鋸	01-11
iDig 屋外 PRセミナー	02-60, OD-01	建設業振興基金	01-45	トータル環境	09-06	ヤマト	07-40
アウトソーシングテクノロジ	01-45	建設業労働災害防止協会	14-73	トーフ・自工	16-44	ヤマト広告	03-24
アカサカテック	05-60	建設システム PRセミナー	09-10	斗山بوبキヤットジャパン	02-41	やまびこ	20-72
アクティオ 屋外	05-02, 05-10, OD-22	現場サポート	18-76	トプコン 屋外 PRセミナー	15-71, ODA-06	山本基礎工業	05-73
アクティブ・ソリューション	03-79	建ロボテック	17-67	土木サポート協会	11-19	ヤマモトロックマシン	13-78
アクティブリテック	08-51	構造計画研究所	10-22	豊島重機	09-02	ヤンマー建機 屋外	09-90, OD-06
アクテック	21-19	甲南電機	01-61	TRIART	01-20	ヤンマーパワーテクノロジ	09-61
アジルジオデザイン/ STONEX	09-70	神戸清光	08-51	トラックユニット	21-11	ユアサ商事	13-60
東グループ	17-61	恒立日本	15-47	ドロニクス	03-60	ユアサ製作所	10-60
アセス	21-21	国際電気	02-64	ナ行		UEL	19-41
アテックス	03-61	コデン	13-70	ナヴィック	15-32	ユナイト 屋外	09-11, OD-05
Atos	14-48	CONOC	19-73	ながおテクノ	17-41	ユニトライク・東京電力ホールディングス	11-19
阿部商会	11-76	コバコン	10-74	中尾ボディショップ PRセミナー	02-67	ユニバルス	04-79
amuse oneself	20-11	コベルコ建機 屋外	05-11, OD-23	中山鉄工所	01-19	ヨコカワコーボレーション 屋外	07-28, OD-02
アメリカン・エクスプレス・インターナショナル	13-48	コマツ/Smart Construction® 屋外	09-91, OD-04	nat PRセミナー	14-23	横浜測器	17-24
ARAV	07-49	コムナブ・テクノロジ	14-60	ナプテスコ	15-27	ラ行	
アルゴ	11-17	コンキャリ	09-71	成松屋	10-71	ライカジオシステムズ 屋外 PRセミナー	02-70, OD-13
アルタス情報システム	10-71	コンチテック・インダストリアル・ソリューションズ・ジャパン	21-24	ニコン・トリンブル 屋外 PRセミナー	05-40, OD-15	リーグルジャパン	03-60
アルファコックス	08-48	サ行		西尾レントオール 屋外 PRセミナー	02-71, OD-16	リックス	21-14
アルボルデマンサナ	13-02	Survey Life	07-69	西松建設	13-01	リトラス	15-10
アルモニコス	19-21	サイテックジャパン 屋外 PRセミナー	05-40, OD-15	日保	15-13	瀧水 PRセミナー	03-60
イエロースキャンジャパン	07-74	サイバネテック	13-43	日建リース工業	04-66	レグラス	10-10
イクシス	19-65	蔵王産業	07-61	日本GPSデータサービス	03-73	レックス	15-11
いとう	11-19	酒井重工業	20-60	日本ニューマチック工業	15-70	レフィクシア PRセミナー	12-01
伊藤商会	05-61	三英技研	08-48	日本製衡所	15-61	レンタルのニッケン 屋外 PRセミナー	12-10, 13-10, ODA-07
伊東商会	18-10	サンオータス	08-41	日本パナロニック	09-24	ROBOTIX JAPAN	14-11
イマギレ	07-71	CSGコンサルタント	05-60	ハ行		ワ行	
イメージワフ PRセミナー	10-79	シー・エフ・デー販売	17-05	Biodata Bank	07-70	ワールド開発工業 屋外	05-02, 05-10, OD-22
岩崎	07-10	シーティーエス	02-02	ハイターゲット日本	18-45	ワイビーエム	04-41
岩田製作所	21-23	SeaBreath	18-19	ハイズック	07-24	ワキタ 屋外	12-11, ODA-09
インターリンク	03-91	JRCモビリティ	02-64	ハイドロシステム開発	14-01	ワキタグループ 大裕 屋外	12-11, ODA-09
INBYTE	11-02	JFDエンジニアリング	10-80	BAUER Maschinen	11-41	ワキタグループ 東日興産 屋外	12-11, ODA-09
ウエダ産業 屋外	02-61, OD-07	JTC	15-01	HAWEジャパン	19-66	ワキタグループ ワキタCSS技術開発 屋外	12-11, ODA-09
ウッドプラスチックテクノロジ	14-42	J-TEX工法協会	14-49	萩原エレクトロニクス	21-20	和興フィルタテクノロジ	03-41
AIRMAN（旧 北越工業）	20-71	CHC NAVIGATION JAPAN	12-41	ハスクバーナ	13-78	海外	
エアロセンス PRセミナー	10-21	ジェノバ	10-66	バスコ	17-10	イーグルエレクトロニックテクノロジ	11-76
英和	08-01	ジオ・サーチ	11-75	バトライト	04-21	ACP Heat Exchanger	16-32
エウレカ	12-81	ジオサーフ PRセミナー	14-60	ハマネツ	20-40	ANMOPYC	06-71
AKTコンステック	05-60	しげる工業	12-69	バル技研	01-17	Cattini e Figlio	15-68
Ace-1	18-72	システムファイブ	04-11	範多機械	09-78	ComeSys	03-57
エクセン	20-02	SIX VOICE（水中ドローン社） PRセミナー	11-42	バンブー苑 PRセミナー	11-60	CONEXPO-CON/AGG	20-70
エコシステム	10-61	SIX VOICE（水中ドローン社） PRセミナー	11-42	BeelInventor PRセミナー	21-44	Dazong track	17-48
エコロジーターボサービス	03-78	ジツタ中国	11-46	日立建機 屋外	15-91, ODA-04	engcon Japan 屋外	09-07, OD-14
エス・イー・エイ	18-21	SINOBOOM	13-49	日立建機日本 屋外	15-91, ODA-04	EPIC LiDAR Tech	15-23
SDLG日本	07-60	CIVIL CREATE	14-48	VIPグローバル	14-68	EURO DRILL	03-91
N&Ncorporation	09-68	JUST.WILL	18-18	HINATA	09-06	FAE Group	09-01
エバスベヒャーミクニクライメットコントロールシステムズ	04-70	ジュンテクノノサービス	17-05	日野興業	12-40	FJ Dynamics International Limited	08-71
エフ・アイ・ティー・パシフィック	15-24	JOHNAN	14-31	Famic Technologies Inc.	18-10	Furis Radiator（Qingdao）	17-44
エフティーエス	08-60	ZIN	06-61	ファロージャパン	11-40	Fuzhou Conssin Lighting	21-79
エムケー精工	07-48	信越電装	10-03	フィリップモリスジャパン 屋外	OD-08	Guangdong Nacre Hydraulic	21-75
エムシーエム	15-28	シンクロアイズ	10-05	フォーラムエイト	11-79	IMDER TURKIYE CONSTRUCTION EQUIPMENT DISTRIBUTORS & MANUFACTURERS ASSOCIATION	06-68
MCデータプラス	01-45	森の機械	04-74	福井コンピュータ PRセミナー	20-10	IMT	03-91
MB Japan	09-79	新和測機	03-79	双葉電子工業	11-66	INDECO	16-60
L is B	18-61	スーバー工業	15-41	bryka	03-46	JIANGSU TOPOWER TYRE	03-21
LGMG日本	07-60	ズームライオン・ジャパン	03-49	FLIGHTS	13-76	Jining Tianhong Machinery	21-77
オイルクイックジャパン 屋外	03-27, OD-03	STEELWRIST	09-41	PRINOTH	17-71	JSC	10-73
OEDO Dynamics	02-25	スバルジャパン	10-63	ブルーインオペーション	07-42	Kinshofer Group	08-70
オーテック	13-78	スペースワン	20-01	古河産機システムズ	12-91	LIUGONG JAPAN 屋外	02-10, OD-17
オーピーティー	03-01	住友建機 屋外	12-90, ODA-03	古河ユニック	12-91	LUOHE MEDLINE HYDRAULIC FLUID	03-11
オカダアイヨン 屋外	20-91, ODA-01	セイビ堂	12-71	古河ロックドリル	12-91	MBI - Mantovanibenne	16-66
岡田商事	07-01	セインジャパン	17-68	FullDepth	02-23	NINGBO FENGHUA ND MACHINERY CO., LTD	08-70
小田島組	17-76	セーフィー	15-02	hemitech	07-10	NINGBO TIP FLUID TECHNOLOGY	03-17
オノデラ製作所	08-81	セキド	11-70	豊和工業	08-01	OGNIBENE POWER	16-67
オブティム PRセミナー	12-02	セフテック	18-41	ホーシン（iDig） 屋外 PRセミナー	02-60, OD-01	Op	16-61
カ行		全国解体工事業団体連合会	20-90	ボーダック	14-26	OUTSET	16-68
快適空間FC	11-46	仙台銘板	21-48	細村建設	17-61	Proemion	11-01
カクマル	15-67	象印チェンブロック	03-50	北海道技建	11-19	PVE	03-91
ガデリウス・インダストリー	02-08	ソーキ 屋外	09-11, OD-05	ボッシュエンジニアリング PRセミナー	14-30	RMC CHINA QUALITY MACHINE PARTS	08-70
金井度量衡	03-60	SORABITO	14-12	VOLVO 屋外	01-65, OD-11	Roquet Hydraulics	06-69
金杉建設	03-79	SORABOT	14-48	本陣水越	15-01	ROTAR	03-91
カナモト 屋外	09-11, OD-05	ソリトンシステムズ	13-41	マ行		ROTOTILT PRセミナー	20-41
可児建設	14-18	タ行		マーテック	20-51	SAMMOON VEHICLE LIGHTING TECHNOLOGY	17-50
KANEKO重機	20-41	大電	18-20	マイクロテクノロジ	01-21	SatLab Geosolutions AB	18-45
金堀重機	03-49	タイトレック	03-63	マイソックス	21-49	SGO	16-31
カミンスジャパン	04-76	ダイナテック	11-78	前田製作所	13-61	SHANDONG LUDUN POLYURETHANE PRODUCTS	03-25
カリダスジャパン	03-01	大平産業	14-40	マコメ研究所	03-18	SHANDONG LUKE HYDRAULIC TECHNOLOGY	03-23
岐阜工業 屋外	05-02, 05-10, OD-22	ダイワテック	11-11	Masrters ジオテツ工法研究会	02-69	Simex	15-64
木村洋行	19-11	田口クリエイト 屋外	05-41, OD-12	マツイ	14-41	SIR MECCANICA	15-60
キャタピラー 屋外	05-91, OD-21	タダノ 屋外	12-70, ODA-08	マップフォー PRセミナー	20-48	SRJ	07-41
キャニコム	15-40	タマヤ計測システム	18-60	マブリエ	17-03	SVAB	09-41
協立電子工業	01-21	チャンピオン/バッテリージャパン	16-40	丸善工業	18-44	Tersus GNSS	02-11
きんそく	07-46	調和工業	06-60	丸善工業	18-44	Tianjin Feima Robotics Technology	19-19
空調服	15-34	千代田測器	12-60	マルマテクニカ	20-22	TILTPRO	02-50
グーテック	14-10	鶴見製作所	21-10	マルマテクニカ相模原	03-71	Traction Engineering Parts	17-46
グーテック プロ	14-10	TI アサヒ	14-02	MARUYAMA	20-69	UNACEA	16-65
Kudan	08-51	T&T	10-25	丸山製作所	01-16	Wuxi Fangsheng Heat Exchanger	21-71
クボタ	15-90	DJI JAPAN	20-61	三笠産業	09-60	Xuzhou Construction Machinery Group Imp. & Exp（XCMG）	02-91
クボタエンジンジャパン	05-78	ディーズアクト	13-45	三木ブーリ	05-72	Yantai Dongxing Group	21-73
クモノスコーボレーション	04-15	ティーティーテックジャパン	09-62	ミズノ	01-41	Yantai Juxiang Construction Machinery	10-48
クライス	11-19	TPホールディングス	08-48	三菱電機エンジニアリング	17-27	Yuhuan Tonghui Machinery	14-43
グラマー	17-78	DeepX	18-40	みるくる	07-04	ZHEJIANG DINGLI MACHINERY 屋外	09-40, ODA-05
グリーンクロス	01-10	DataLabs	17-60	ミルトス	19-41	ZHEJIANG HENGZHAN MACHINERY	03-19
GRIFFY	04-60	テクノシステム	11-46	MetaMoJi PRセミナー	19-45	Zhenjiang Tonly Rubber	10-44
グレートスタージャパン 屋外 PRセミナー	02-60, 02-68, OD-01	デバイスワークス	11-19	メルシー	08-68, 13-40	屋外 は屋外展示場にも出展 PRセミナー はPRセミナーを実施	
		テラサット・ジャパン	08-48				
		テラドローン	19-01				
		デンヨー	17-45				



LIUGONGは次世代のEVテクノロジーで脱炭素社会に貢献します。

EV機は
CO2排出ゼロ

CSPI-EXPO 2025
千葉・幕張メッセ
ホール1・ブース 02-10 & 屋外ブース OD-17
2025年6月18日～21日

住所:〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-3-9 | TEL&FAX:03-6696-0116

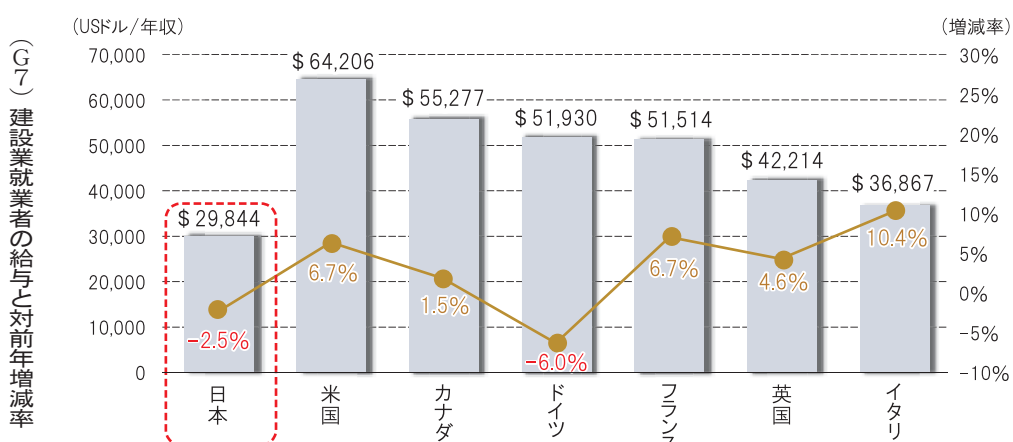
1位	中国	5,367.0万人
2位	米国	1,238.3万人
3位	インドネシア	892.9万人
4位	ブラジル	724.1万人
5位	パキスタン	590.6万人
6位	ロシア	491.3万人
7位	日本	483.0万人
8位	ベトナム	472.9万人
9位	フィリピン	446.0万人
10位	エジプト	390.9万人

ヒューマンリソースは、134カ国を対象に建設業の就業者数と給与を調査した「データで見える世界の建設人材動向レポート」をまとめた。2023年度の134カ国の就業者数の合計は1億8164・7万人で、アジア・太平洋地域が9661・1万人で半数以上を占める。日本は7位の483万人となり、世界に比べて女性やシニアなど多様な人材の活用が進んでいることが分かった。

調査には国際労働機関の統計データ「ILOSTAT」や各国の統計データを活用し、24年12月～25年3月に実施した。134カ国の就業者数を地域別に見ると、アジア・太平洋地域が9661・1万人、北米

国別1位が中国の5367万人

7位日本は女性やシニアなど人材多様化



・中米・南米が3231・2万人、欧州が2513・2万人と続く。国別の就業者数は、1位が中国の5367・0万人、2位が米国の1238・3万人、3位がインドネシアの892・9万人。前年比は7・6%増のインドネシアが最も増加した。

主要7カ国(G7)に限定すると、就業者数は1位が米国、2位が日本、3位が278・8万人のドイツ。全就業者のうち建設業が占める割合が高いのは、1位がカナダの7・8%、2位が米国の7・7%、3位が日本の7・2%となる。前年比の増加数は1位がドイツの12・6万人、2位が米国の10・6万人、3位が日本の4・0万人。イギリス、フランス、イタリアは減少している。

女性とシニアの人材動向では、最も女性比率が高い国は日本の18・2%、2位がドイツの15・2%、3位が英国の14・9%だった。最上位はイタリアの7・4%。また、65歳以上のシニアの比率が最も高いのは日本の16・8%。2位の米国の5・4%と比べると日本は3倍超で、働き手としてシニアの重要性が改めて浮き彫りになった。

一方、給与の動向は、平均年収をUSD1ペーに換算すると、G7の1位は米国の6万4206ドル、2位は日本の2万9844ドル、3位はドイツの2万9844ドルで、アジア各国と日本の給与を比較すると、1位が3万8691ドルの韓国、2位が3万7514ドルのシンガポール、日本は3位となる。4位の中国(9043ドル)とは大きな開きがある。

134カ国の建設業就業者数は1億8164万人

FUKUI COMPUTER

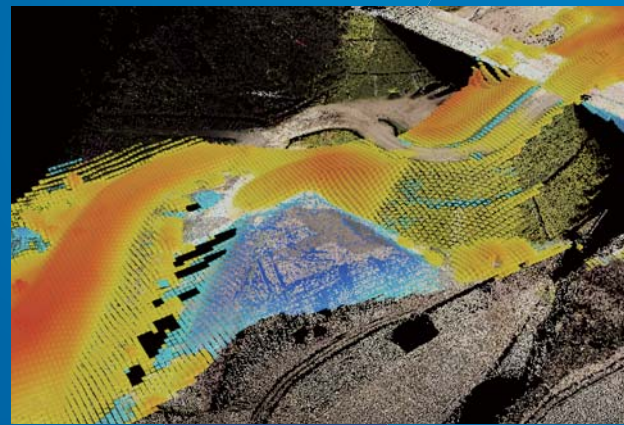
NETIS
登録技術

最高
ランク

推奨技術
に選定されました!

【NETIS登録番号】KK-150058-VE

TREND-POINT
3D点群処理システム(トレンドポイント)



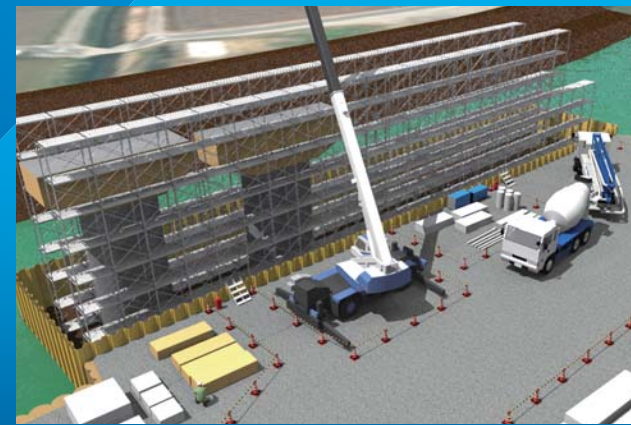
【技術名称】3次元点群処理ソフトを用いた施工土量計測システム

ドローン(UAV)の空中写真撮影やレーザスキャナで得た点群データを用いたメッシュ土量計算により、施工前後および各施工段階での土量の差分を計算できる技術です。

推奨
技術

【NETIS登録番号】KK-160043-VE

TREND-CORE
BIM/CIMコミュニケーションシステム(トレンドコア)



【技術名称】3次元モデルを利用したBIM/CIMコミュニケーションシステム

設計図面や3次元計測データをもとに施工現場を3Dモデルで表現し、施工手順の説明や安全教育、地域住民への現場説明、施工時の情報共有などに活用できる技術です。

推奨
技術

工期短縮・労働環境改善など、生産性を高める福井コンピュータのソリューション。



その他のNETIS登録情報 ●データ共有クラウドサービス「CIMPHONY Plus」【NETIS登録番号:KK-210003-VE】※令和5年度 活用促進技術 ●現場業務支援アプリ「FIELD-TERRACE」【NETIS登録番号:KK-200057-VE】 ●電子小黑板入力支援アプリ「黒板作成・連携ツール」【NETIS登録番号:KT-240010-A】

福井コンピュータ株式会社
本社 / 福井県坂井市丸岡町磯部福庄5-6

札幌・福岡・仙台・水戸・宇都宮・高松・新潟・長野・さいたま・千葉・東京・静岡・名古屋・岐阜・福井・京都・大阪・神戸・岡山・高松・松山・広島・福岡・熊本・別府・宮崎・鹿児島

●製品情報・カタログ請求・各種お問い合わせは
(福井コンピュータグループ限定営業)
0570-039-291 福井コンピュータ
const.fukui-compu.co.jp



聴講無料

事前申込制

特別セミナープログラム

事前申し込みは満席となっておりますが、当日特別セミナー会場にて **当日受付** を行います。
出展社による製品・技術PRセミナーは当日受付になりますので、直接PRセミナー会場へお越しください。 ※CPD/CPDSの付与に関する詳細は公式HPをご覧ください。



特別セミナー

A会場

CPD/CPDS 付与
対象セミナー(要申請)

11:00 ↓ 12:00	 CSPI-A101 国土交通省における i-Construction2.0、 インフラDXの取り組みについて 国土交通省 大臣官房 参事官(イノベーション)グループ 課長補佐 西上 康平
13:00 ↓ 14:00	 CSPI-A102 スマートコンストラクション®2025 コマツ 常務執行役員 ソリューション本部長 株式会社EARTHBRAIN 代表取締役会長 四家 千佳史
14:25 ↓ 15:25	 CSPI-A103 建設・測量分野における ドローンの最前線 最新の適用事例と、飛行安全のため法制度 一般社団法人日本UAS産業振興協議会 理事長 鈴木 真二
15:45 ↓ 16:45	 CSPI-A104 途上国での ビジネス・チャンスをつかむ JICAによる海外進出支援 独立行政法人国際協力機構 民間連携事業部 企業連携第1課 課長 樋口 辰徳

11:00 ↓ 12:00	 CSPI-A105 公共事業等における 新技術活用スキームについて 国土交通省 大臣官房技術調査課・課長補佐 岡本 由仁
13:00 ↓ 14:00	 CSPI-A106 データマネジメントを活用し 複数現場を管理 ～令和4年度美和ダム上流土砂掘削工事～ 小澤建設株式会社 土木部 部長 古瀬 涉 令和6年度 インフラDX大賞 国土交通大臣賞 受賞
14:25 ↓ 15:25	 CSPI-A107 ドローン測量技術の最近の動向と 将来展望 ドローン測量教育研究機構(DSERO) 代表理事 京都大学 名誉教授 大西 有三
15:45 ↓ 16:45	 CSPI-A108 3Dプリンタ護岸で造る 建設DXの最前線 次世代の建設現場を目指した地方からの挑戦 福岡開発株式会社 土木部兼ICT推進室 課長 足達 大輔 令和6年度 インフラDX大賞 国土交通大臣賞 受賞

11:00 ↓ 12:00	 CSPI-A109 国土交通省における インフラメンテナンスの取組 国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 課長補佐 東山 遼
13:00 ↓ 14:00	 CSPI-A110 解体業界の未来と持続可能性 公益社団法人全国解体工事業団体連合会 理事 技術・安全委員会委員長 矢野 智孝
14:25 ↓ 15:25	 CSPI-A111 人口減少社会を迎えて ～建設業の課題と挑戦～ 立命館大学 総合科学技術研究機構 教授 建山 和由
15:45 ↓ 16:45	 CSPI-A112 生成AIで踏み込む 建設DXのアクセラ 株式会社日経BP 日経アーキテクチャ 編集長 木村 駿

特別セミナー

B会場

CPD/CPDS 付与
対象セミナー(要申請)

11:00 ↓ 11:45	 CSPI-B201 Cat次世代製品の紹介ー 325汎用小旋回仕様機、D8ブルドーザ 2025年に市場導入を開始した 新製品、製品アップデートについてご紹介 キャタピラー マーケティング部 部長 田中 伴明
12:30 ↓ 13:15	 CSPI-B202 BIM / CIMをSketchUpで最適化 活用事例から最新技術まですべてをご紹介 株式会社ニコン・トリンブル インダストリーソリューション事業部 BIM推進部 マーケティンググループ 亀田 徹
13:40 ↓ 14:25	 CSPI-B203 自動化施工を活用した施工支援システム ロボット技術でできる作業の効率化 西尾レントオール株式会社 建設DX営業課・課長 梶原 智彦
14:50 ↓ 15:35	 CSPI-B204 AI時代の建設DXと次世代プロダクト開発 株式会社EARTHBRAIN CTO 兼 Landlog President 井川 甲作
16:00 ↓ 16:45	 CSPI-B205 なぜ建設業界の女性活躍・定着が必要なのか それらの推進がもたらす効果について考える 建設産業女性定着支援ネットワーク 幹事長 須田 久美子 全国低層住宅労働安全協議会 じゃうたく小町部会 顧問 三崎 涼子 一般社団法人日本建設業連合会 けんせつ小町委員会 定着支援専門部 会長 大島 実穂 エキスパート・リンク株式会社 ディレクター [同会]熊本 好美

11:00 ↓ 11:45	 CSPI-B206 建設機械の遠隔操作と遠隔管理 現場と事務所をつなぎ、もっと安全に、 もっと効率的に キャタピラー 販売促進部 担当部長 福田 瞬一
12:30 ↓ 13:15	 CSPI-B207 効率的なドローンソリューションのご提案 株式会社amuse oneself 技術 富井 天夢
13:40 ↓ 14:25	 CSPI-B208 山岳トンネル計測の新時代 3次元技術で掘削管理と出来形評価を革新 ライカジオシステムズ株式会社 サーベ&コンストラクション営業本部 東日本パートナー営業 下河原 龍史 株式会社岩崎 広域エリア営業部 新技術専任部長 奈良 久
14:50 ↓ 15:35	 CSPI-B209 i-Construction 2.0の世界 ～遠隔・自動化施工～ 遠隔・自動化施工への挑戦と広がる可能性 株式会社EARTHBRAIN IoT開発担当 ヴァイスプレジデント 大場 重生
16:00 ↓ 16:45	 CSPI-B210 どうなる? 日本の電動建機の最前線 業界標準バッテリーにより、小型電動建機は、普及期へ 株式会社カネモト 特需営業部 / 顧問 庄野 和隆 舗装修繕工におけるICTシステムの紹介 路面切削機におけるICT施工履歴システム ユナイテッド株式会社 広域営業部 建設ICT推進課 主任 小川 遼 建設現場における安全対策システムの紹介 警戒エリア安全監視システム(2Dセンサ) 株式会社ソーキ 計測機器営業部 副部長 杉崎 誠

11:00 ↓ 11:45	 CSPI-B211 新型Cat チルトローテータの紹介 CatチルトローテータとCat次世代油圧ショベルとの コラボレーション キャタピラー シニアセールスサポートコンサルタント 三富 亮治
12:30 ↓ 13:15	 CSPI-B212 現場を変える未来を作る ～ SiteOrchestration Sオケが目指す建設DXクラウドによる「レンケイ(連携)」 サイトテックジャパン株式会社 代表取締役社長 兼 セネラルマネージャー 瀬田 文子
13:40 ↓ 14:25	 CSPI-B213 インフラ老朽化対策の次世代アプローチ ライカジオシステムズ株式会社 GMAT事業部 ディレクター 内田 雅之
14:50 ↓ 15:35	 CSPI-B214 スマートコンストラクション®2025 株式会社EARTHBRAIN 代表取締役社長 CEO 小野寺 昭剛
16:00 ↓ 16:45	 CSPI-B215 女性技術者に聞く自分らしく仕事をする方法 建設業界でキャリアプランを叶えるためには 一般社団法人日本建設業連合会 けんせつ小町委員会 活躍支援専門部会長 黒嶋 敦子 株式会社熊谷組 首都圏支店 土木事業部 土木部 東電北多摩シールド作業所 細沼 千絵美 全国低層住宅労働安全協議会 じゃうたく小町部会 副部会長 根本 希美 エキスパート・リンク株式会社 ディレクター [同会]熊本 好美

特別セミナー

C会場

CPD/CPDS 付与
対象セミナー(要申請)

11:00 ↓ 11:45	 CSPI-C301 ICT施工StageII試行工事の検証報告 施工データの活用とボトルネックの考察 株式会社トプコン スマートインフラ事業本部 直轄国内営業部 主査 本田 肇
12:30 ↓ 13:15	 CSPI-C302 レンサルティングで現場の課題を共に解決 サイレント工法・建設DX・減災・防災 株式会社アクティオ レンタルDX営業部 宗像 亨 建築保安事業部 建築保安営業課 吉本 晴香 産業機械事業部 環境営業課 池田 俊介
13:40 ↓ 14:25	 CSPI-C303 業績を伸ばすのは建設DXだけだ! ～「忙しい」を追求し「忙しい」を解決～ 日立建機株式会社×株式会社月の輪建設工業 専務取締役 赤本 淳
14:50 ↓ 15:35	 CSPI-C304 コベルコの GX建機(建機電動化)プロジェクト コベルコ建機株式会社 技術開発本部 セロエミッション開発部 部長 寺内 謙一
16:00 ↓ 16:45	 CSPI-C305 「大規模地震に備える」 内閣府 政策統括官(防災担当)付 参事官(防災計画担当)付 吉田 和史

11:00 ↓ 11:45	 CSPI-C306 現場での生産性向上と 安全作業の両立を実現 新型ICT機の新機能と使用方法のご提案 住友建機販売株式会社 営業企画部 ICT推進グループ グループリーダー 高久 敦志
12:30 ↓ 13:15	 CSPI-C307【建機工主催 学生向けセミナー】 あなたとつくる、つなぐ、未来へ 新たな企業理念が生まれるまでのストーリー コベルコ建機株式会社 企画管理部コーポレートコミュニケーショングループマネージャー 大山 心平 コベルコ建機株式会社 企画管理部コーポレートコミュニケーショングループマネージャー 堀内 賢 建設機械業界の魅力 世界と闘う優良企業の紹介 エクセン株式会社 代表取締役社長 林 哲平
13:40 ↓ 14:25	 CSPI-C308 人材力と建設DXでつなぐ建設業の未来 チームワークと技術力で新しい道を切り拓く 日立建機株式会社×宮坂建設工業株式会社 ICTソリューション 課長 澤柳 良輔
14:50 ↓ 15:35	 CSPI-C309 ヤンマーが目指す新たなバリューチェーン 建機、動力、エネルギーから見る持続可能な未来 ヤンマー建機株式会社 販売促進部(建機)専任課長 橋本 和俊 ヤンマーパワーテクノロジーズ株式会社 小型事業部 営業部 ソリューション営業グループ(パワートレイン) 山口 祐樹 ヤンマーエネルギーシステム株式会社 新規ビジネス開発準備室(エネルギーシステム) 室長 小島 卓也
16:00 ↓ 16:45	 CSPI-C310 人を中心としたDXの重要性 コベルコ建機株式会社 新事業推進部長 佐伯 誠司

11:00 ↓ 11:45	 CSPI-C311 用途で選ぶ点群計測の最適解とは? スベック依存からの脱却。 多様化する3D計測への一石 株式会社トプコン スマートインフラ事業本部 PSアジア営業部 アジアSI製品営業企画課 堀 泰平
12:30 ↓ 13:15	 CSPI-C312 DXを通じた現場の生産性向上への挑戦 時間と価値を創造するシン・レンタル体験 株式会社レンタルのニッケン 執行役員 デジタル戦略本部 本部長 白藤 太郎 デジタル戦略企画部 部長 宋 次朗
13:40 ↓ 14:25	 CSPI-C313 建設DXで省人化と工期短縮を実現 ～現場事務所から離れた2現場を一元管理～ 日立建機株式会社×小澤建設株式会社 土木部 部長 古瀬 涉
14:50 ↓ 15:35	 CSPI-C314 コベルコの GX建機(建機電動化)プロジェクト コベルコ建機株式会社 技術開発本部 セロエミッション開発部 部長 寺内 謙一
16:00 ↓ 16:45	 CSPI-C315 最新ドローン技術で 建設・測量の課題を解決 ドローンを活用して業務効率化を推進 DJI JAPAN株式会社 エンタープライズ事業部 ソリューションエンジニア 木田 雄貴

つくる、道がある。つなぐ、世界がある。

SAKAI
MASTERS OF COMPACTION

自動運転ローラ

ARMs

自動 遠隔 手動



快適を現場に
サスペンションシート

ブース番号：17-78にて、
各種のサスペンションシートを体感！
皆様のお越しをお待ちしております。



SOLID
TO SUCCEED

SOLID INNOVATION
FOR GREEN
TOMORROW



徐工集団は1943年に設立され、これまで82年にわたる発展の歴史を歩んで参りました。当社は常に「エンジニアリング技術で未来を切り拓く」という企業理念を堅持し、継続的な研究開発投資とグローバルな協働イノベーションを通じて、電動化・知能化分野の技術革新と製品開発を推進し、中国における電動建設機械関連標準の全領域制定に参画してまいりました。

徐工日本株式会社

〒103-0025

東京都中央区日本橋茅場町2-7-1 CCICビル6F

CCIC Building 6F, 2-7-1 Kayabacho, Nihonbashi, Chuo-ku, Tokyo, Japan

Tel : 03-6661-7408 FAX : 03-6661-7409

Email: zhangxy@xcmg.com

https://www.xcmgglobal.com/

聴講無料

出展社による製品・技術PRセミナープログラム

当日、各セミナー会場にて受付を行います。



出展社による製品・技術PRセミナー I 会場

11:00 ↓ 12:00		CSPI-D401 適材適所、適所適材の3Dソリューション 3D点群で未来を形に、革新への第一歩へ ニコン・トリンブル
12:30 ↓ 13:00		CSPI-D402 経験を補う現場マストアイテムはこれだ！ 担い手不足解消へ、省人化への必須ツール！ 建設システム
13:20 ↓ 14:20		CSPI-D403 建設現場の未来を変えるIoT 安全・効率化の最前線IoTソリューション BeelInventor
14:40 ↓ 15:10		CSPI-D404 重機アタッチメントを取り扱う小さな専門店の大きな価値づくり NAKATAKIは、ここが違う 中尾ボテショップ
15:30 ↓ 16:00		CSPI-D405 進化する建設現場の計測技術 新製品Leica iCON iCS50の生産性革命 ライカジオシステムズ
11:00 ↓ 12:00		CSPI-D406 Exyn NexsysによるLiDAR計測 マルチプラットフォーム対応で計測に革命を ニコン・トリンブル
12:30 ↓ 13:00		CSPI-D407 レベル3.5で広がるVTOL広域測量 エアロセンズ
13:20 ↓ 14:20		CSPI-D408 建設現場の未来を変えるIoT 安全・効率化の最前線IoTソリューション BeelInventor
14:40 ↓ 15:10		CSPI-D409 等高線による施工図作成 @1DESIGN 知りたい高さがピンポイントでわかる施工図 アイデアサポート
15:30 ↓ 16:00		CSPI-D410 電動建機活用によるCO2削減 建設現場のカーボンニュートラル 西尾レントオール
11:00 ↓ 12:00		CSPI-D411 現場DX！ SiteOrchestration Sオケで現場のオートメーション化へGo！ サイテックジャパン
12:30 ↓ 13:00		CSPI-D412 KENTEMが提案する建設業バックオフィス改革 現場とオフィスのシームレスな協業 建設システム
13:20 ↓ 14:20		CSPI-D413 領域横断三次元点群測量の事例発表 三次元測量機器の組み合わせ技術の紹介 額水
14:40 ↓ 15:10		CSPI-D414 領域横断三次元点群測量の事例発表 三次元測量機器の組み合わせ技術の紹介 パンブー苑
15:30 ↓ 16:00		CSPI-D415 GNSS最前線！ 人手不足解消のヒント Leica GS05 による次世代測位 ライカジオシステムズ

出展社による製品・技術PRセミナー II 会場

11:00 ↓ 12:00		CSPI-E501 前半「レンタルのニッケンが進めるカーボンニュートラルの取組」 後半「日系レンタル会社がアジア市場で果たすべき役割」 レンタルのニッケン
12:30 ↓ 13:00		CSPI-E502 建機向け部品及びエンジニアリングサービス サンプル供給から量産まで対応 ボッシュエンジニアリング
13:20 ↓ 14:20		CSPI-E503 測量作業のスリム化を推進 若手が活躍する測量DX時代の到来 トプコン
14:40 ↓ 15:10		CSPI-E504 スマホがcm精度の万能測量機に！ 点群取得、AR、座標誘導もスマホ1台で レフィクシア
15:30 ↓ 16:00		CSPI-E505 測量・設計業向け最新製品のご紹介 未来のフィールドを拓く測量・設計技術者へ 福井コンピュータ
11:00 ↓ 12:00		CSPI-E506 2025年次世代型水中調査技術 水中可視化の新たな一歩、MA3マルチ他 東亜テクニカ
12:30 ↓ 13:00		CSPI-E507 建機向け部品及びエンジニアリングサービス サンプル供給から量産まで対応 ボッシュエンジニアリング
13:20 ↓ 14:20		CSPI-E508 建設効率UPを目指す次世代ツールの紹介 建設現場革新の新型シベルシステムなど トプコン
14:40 ↓ 15:10		CSPI-E509 スマホがcm精度の万能測量機に！ 点群取得、AR、座標誘導もスマホ1台で レフィクシア
15:30 ↓ 16:00		CSPI-E510 土木施工業向け最新ソリューションのご紹介 点群・3Dなどの建設DXツール活用例 福井コンピュータ
11:00 ↓ 12:00		CSPI-E511 Pix4D社のスマートフォン計測と マップフォー社のSEAMSによる3次元計測のご紹介 イメージワン
12:30 ↓ 13:00		CSPI-E512 VENUS AND MARS！ - 革新的なレーザー-RTK GNSS、IMU、レーザー測位技術の統合 ジオサーフ
13:20 ↓ 14:20		CSPI-E513 事例から学ぶ！ トプコンの建築DX デジタル計測が現場を変える トプコン
14:40 ↓ 15:10		CSPI-E514 スマホがcm精度の万能測量機に！ 点群取得、AR、座標誘導もスマホ1台で レフィクシア
15:30 ↓ 16:00		CSPI-E515 Scanatが導く新しい働き方 nat

出展社による製品・技術PRセミナー III 会場

11:00 ↓ 12:00		CSPI-F601 OPTIM Geo Scan 高価な測量機がスマホの中に！ オプティム
12:30 ↓ 13:00		CSPI-F602 建設現場の残業削減にはeYACHO！ ～現場での活用事例と新機能のご紹介～ MetaMoJi
13:20 ↓ 14:20		CSPI-F603 測量から始まる3D都市モデル整備 デジタルツインの根幹は位置情報から アイサンテクノロジ
14:40 ↓ 15:10		CSPI-F604 ～ROTOTILT～ 明日からの現場を変える！！ ROTOTILTの様々な使い方 ROTOTILT
15:30 ↓ 16:00		CSPI-F605 BlueBoat深湛測量&点群データ生成 最新マルチビーム測深器の実戦水路図公開 SIX VOICE(水中ドローン社)
11:00 ↓ 12:00		CSPI-F606 OPTIM Geo Scan 高価な測量機がスマホの中に！ オプティム
12:30 ↓ 13:00		CSPI-F607 eYACHO×AIソリューションのご紹介 生成AIが作業の安全リスクを予測します MetaMoJi
13:20 ↓ 14:20		CSPI-F608 廉価ナローマルチビームBaywei M7 インフラメンテナンスにて活用製品紹介 ビジョテックス
14:40 ↓ 15:10		CSPI-F609 低コスト×高精度3次元計測とデータ活用 現場の業務効率化に貢献する活用事例を紹介 マップフォー
15:30 ↓ 16:00		CSPI-F610 Pix4D社のスマートフォン計測のご紹介 フォトグラメトリ技術の優位性について イメージワン
11:00 ↓ 12:00		CSPI-F611 OPTIM Geo Scan 高価な測量機がスマホの中に！ オプティム
12:30 ↓ 13:00		CSPI-F612 eYACHO×建設BPOサービスのご紹介 施工書類作成の自動化や代行もeYACHOで！ MetaMoJi
13:20 ↓ 14:20		CSPI-F613 前半「効率的な土木作業を実現！」 後付け式バックホウ用マシンガイダンス 後半「測量現場の変革は、ここから始まる！」 IMUxレーザー-RTKxカメラの融合 Dig ホーシン グレートスタージャパン
14:40 ↓ 15:10		CSPI-F614 ～ROTOTILT～明日からの現場を変える！！ ROTOTILTの様々な使い方 ROTOTILT

※敬称略
※セッションの録音、写真、動画撮影は禁止いたします。
※都合により、講師およびセミナープログラムが予告なく変更になる場合がございます。

過去最多の2,765ブース、展示規模47,000㎡ 日本最大級で開催！



CSPI-EXPO 2025

第7回 国際建設・測量展

International Construction & Survey Productivity Improvement EXPO

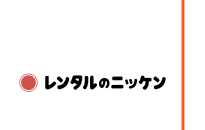
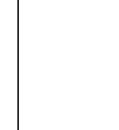
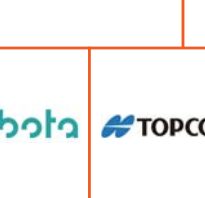
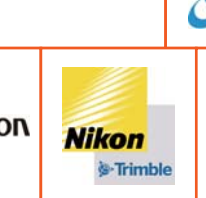
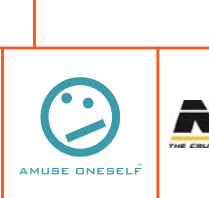
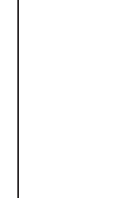
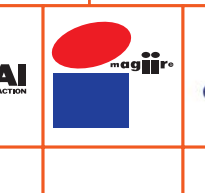
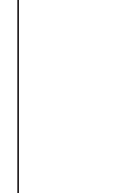
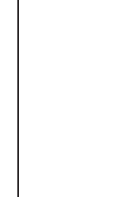
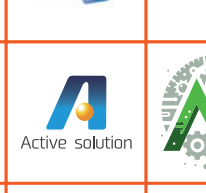
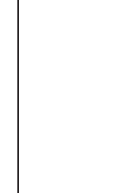
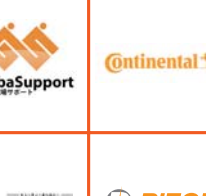
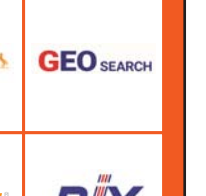
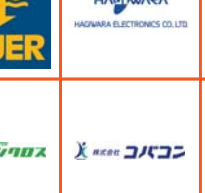
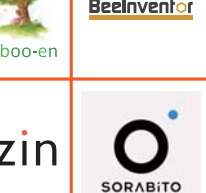
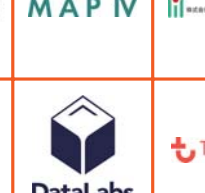
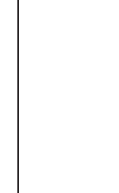
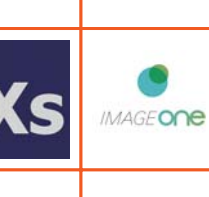
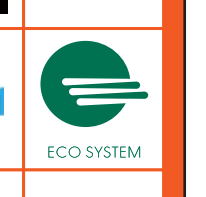
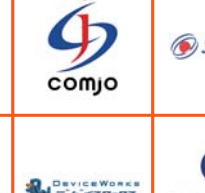
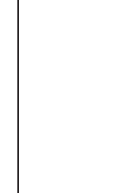
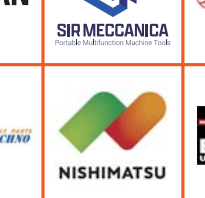
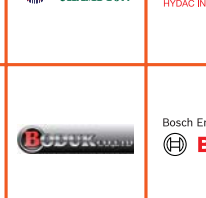
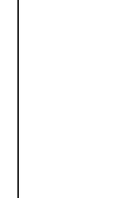
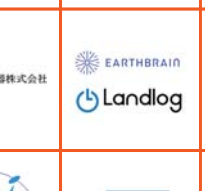
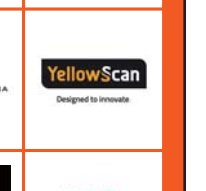
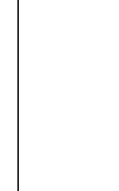
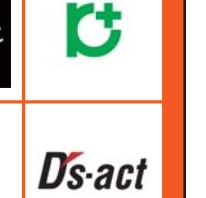
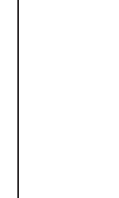
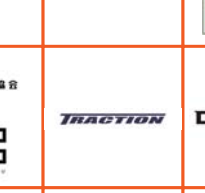
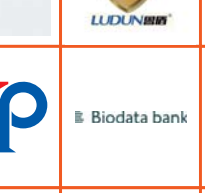
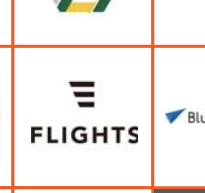
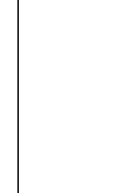
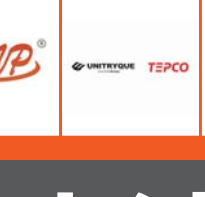
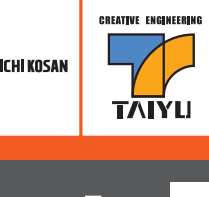
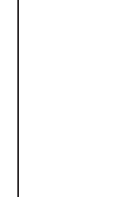
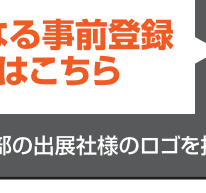
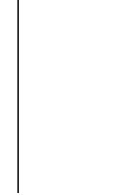
会期：6月18日水・19日木・20日金・21日土 幕張メッセ

業界の牽引する
豪華講師陣による
セミナーも開催

21日(土)のみ一般の方も
ご来場いただけます

建設・測量生産性向上展より名称変更し開催いたします

業界を支える405社が皆さまのご来場をお待ちしております！

																			
																			
																			
																			
																			
																			
																			
																			
																			
																			
																			
																			
																			
																			
																			
																			
																			
本展に関するお問い合わせ 主催 国際建設・測量展(CSPI-EXPO) 実行委員会 https://cspi-expo.com/																			

屋外展示場では様々な実演が行われます

入場が無料になる事前登録
本展の詳細はこちら

※一部の出展社様のロゴを掲載しております



建設機械用 リビルドターボチャージャー

最新4次規制エンジン搭載のVGSターボをはじめ
メーカー生産停止した旧年式機械 まで
全てのターボに対応いたします

株式会社エコロジーターボサービス 東京本社

www.e-tts.com TEL:03-5741-1511 FAX:03-5741-2211



Continental
The Future in Motion

CSPI-EXPO 2025
第7回 国際建設・測量展
International Construction & Survey
Productivity Improvement EXPO

**TODAY'S EXPERTISE FOR
TOMORROW'S SOLUTIONS**

会場: 幕張メッセ ホール6
会期: 2025年6月18日(水)19日(木)20日(金)21日(土)

ブース 21-24

Lefixea Inc.

LRTK Phone
cm級高精度測位

スマホ1台で全て実現

誰でも絶対座標付き点群スキャン

国土交通省に納品する
3次元の出来型としても利用可能

歩いてもスレないAR

cm杭打ち誘導

体積: 193.644 m³
容積: 0.817 m³
体積の差: 192.827 m³

目的の地味です。
画面上部を建設して
位置を合わせてください。
北に1954m
西に3541m
直進方向に17.650m

杭10

2.14m

モード切替

精密 したい場合は縦でご利用

クローラ洗浄の自動化で、
洗浄工程の時間短縮と省力化を実現。
円滑な建機レンタルをサポートします。

MEGA FRESH
for construction machinery

建機車両洗浄機 メガフレッシュ MF-Z0111Z

エムケー精工株式会社 〒389-1313 長野県上水内郡信濃町古間1618
TEL.026-255-6011(代) https://www.mkseiko.co.jp/

故障整備コストや燃料コストを低減できます

コスト削減

故障の発生源を徹底洗浄

エンジン性能の
改善・回復

インジェクター
DPFの不調改善

エンジン音低減
寿命アップ

DIESEL PRO
ディーゼルプロ

無料出張 デモンストレーション実施中

2000台
全国導入済

SUN AUTAS 株式会社サンオータス 045-633-4440
〒223-0059 神奈川県横浜市港北区北新横浜1-7-3

アドバンテージ
ホームページ

100年
の実績

レンタルは 成松屋

チェーンブロックホイスト巻上荷重試験機を展示します。
CSPI展示スペースでお待ちしております。

展示ホール3
No.10-71

成松屋
HPへは
こちら

06-6556-0061 (代表)

044-287-1655 (共通)

本社・関西営業部 〒551-0031 大阪市大正区泉尾7丁目2番1号

関東営業所 〒210-0866 川崎市川崎区水江町6-18

川崎駅前オフィス 〒210-0006 川崎市川崎区砂子1-10-2 ソンオ砂子ビル306

EZ SureGrip Clip-on Pad Booth #07-41

日本特許 7185778

日本特許 7185778

つくるを、ささえる CREATE TOGETHER

建設、土木、建築。大規模なプロジェクトから一軒の住まいまで、あらゆるものづくりの現場に技術とサービスを届ける。建設機械レンタルは、重要な社会インフラのひとつ。そのフィールドは、北海道から全国へ、そして世界へ。つくるを、ささえる。カナモトの使命は、未来へ続きます。

建設機械レンタルの **kanamoto**

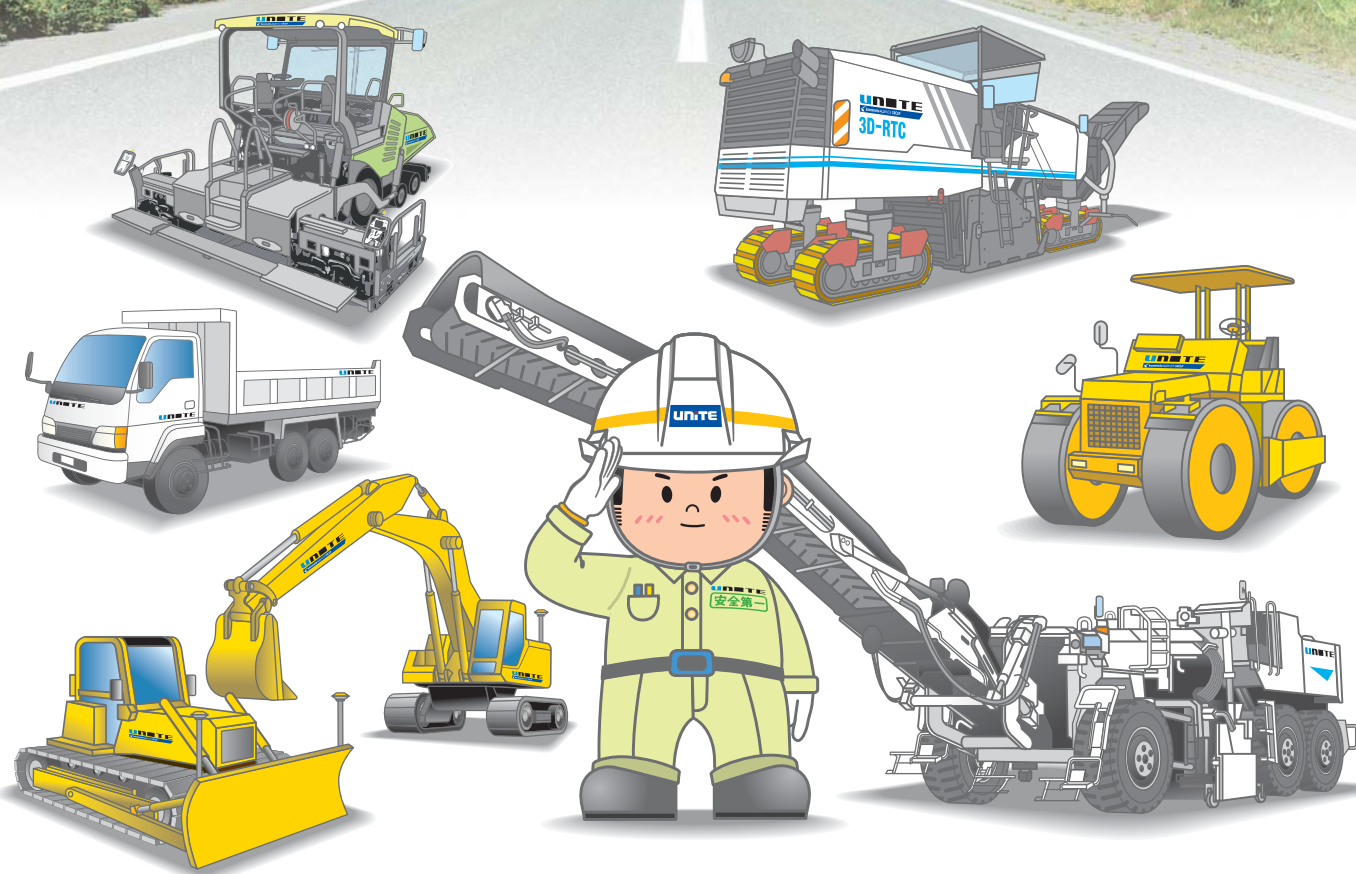
THE UNITE SPIRITS! 道をつくり、道を活かす。

私たちの生活や経済活動を支える「社会の大動脈」である道路。

私たちユナイトの使命、それは我が国の最も重要な

基幹インフラである道路の安心・安全を守ること。

そして道を活かし、豊かな未来へと続く道をつくることです。



道をつくり、道を生かす。
UNITE
kanamoto ALLIANCE GROUP
www.unitenet.co.jp

ユナイト株式会社
本社 / 東京都中央区日本橋人形町一丁目14番8号 JP水天宮前ビル4階
TEL 03-6667-8471 FAX 03-5644-5780

CREATE THE FUTURE

